

起業家とはどのような人間なのか —「アントレプレナーシップ」講座、初の対面授業を開催—

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）では、2020年12月4日（金）に寄付講座「アントレプレナーシップ—新しい事業を始めるための経営学—」の対面授業が行われ、オンライン受講も含め35名が参加しました。

本講座は今年度から単位が取得できる正課授業となり、「アントレプレナーシップ」をテーマに現在活躍中の起業家、ベンチャーキャピタリストが毎週ゲストとして登壇、講義を行っています。今年度はオンライン授業が中心でしたので、12月4日は初の対面授業となります。対面授業はソーシャルディスタンス等感染予防対策を行った上で実施されました。

後期の狙いは「起業家とはどのような人間なのか」を知り、ビジネスプランを作成すること。

前期は起業家活動や起業家の条件などについて学んできました。後期は実践編となり、ビジネス実現に不可欠な資金や人材の確保にかかるテーマなど、「やりたいこと」が見えてきた後に乗り越えるべき課題について理論と実践の面から学びます。

今回の対面授業では、プラットフォームサービス株式会社 代表取締役の田辺恵一郎 会長をゲスト講師に招き、「経営者になることとはどういうことなのか」というテーマでお話し頂きました。

また、講義後には来年2月に予定されている「ビジネスプランコンテスト」に関する相談会が行われ、「新しい公共の担い手」となる社会起業家の育成を手がけている田辺会長ならではの視点で、学生たちに貴重なアドバイスをを行いました。



対面授業の様子

受講者の声(経済学部経営学科 3 年 猿渡一樹さん)

起業を視野に入れて大学で学んでいる私にとって、実際に起業し経営されている方のお話を直に聞くことができる本講義は貴重な機会です。また、この講義の到達目標であるビジネスプランについて、本職の起業家から批評していただく経験は、より多角的な視点を持つきっかけになり大変魅力的です。

中国地方で家具の制作や建築設計などを手掛ける企業の代表取締役の方の講義が最も印象に残っています。資金と人脈のどちらも手厚いバックボーンなどなく、家具工房を立ち上げ、事故等により困難な事態に見舞われながらも、立て直しを図り事業拡大に成功。起業家が成功をつかむには論理だけでなく初志貫徹を決行する強い精神力が必要だと考えさせられた講義でした。

講義は対面の方が得るものは大きいと感じましたが、一方でオンラインにも質問のしやすい空気感が形成されていたので両方にメリットがあると思いました。



講義後の相談会

—本件に関するお問い合わせ先—

武蔵大学 広報室

TEL : 03-5984-3813 FAX : 03-5984-3727 E-mail : pubg-r@sec.musashi.ac.jp

2022 年、武蔵学園は創立 100 周年を迎えます。

■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩 6 分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の 3 学部 8 学科からなる文系総合大学。一年次から 4 年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012 年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020 年 3 月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022 年 4 月、学園創立 100 周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部（仮称）の設置を構想中。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1